令和５年度国際交流科目「グローバル人材育成研修」実施ガイドライン

要確認

* オンラインでの学会発表は想定されていない。どこかで承認必要ではないか。
* 学会発表の定義が決まっていない。単位を与える以上は、筆頭演者ということにしてはどうか？（発表者として名前が記載されたプログラムを添付書類として確認する。）
* 「グローバル人材育成研修」２と３は、内容が「海外留学先で研究活動、もしくはセミナーに参加」となっているが、セミナーは単発で実施されるものであり、２０日間の留学とは相容れないのではないか。
* 事後学修の内容が、発表会またはレポートとなっており、学生、指導教員の両方にとって負担が大きく、申請のハードルとなる可能性あり。たとえば、事後学修として、指導教員からフィードバックを受けるなど、簡素化できないか？
* 成績評価は、合否としたい。素点による評価となると、指導教員にしていただく必要がある。また素点にすると、申請の流れが、学生→事務担当へ申請書提出→教員へ評価依頼→事務担当→国際部となり、教員、部局事務の作業が増えることになる。
* 複数回の履修を認めることでよいか。国際学会で２度発表した場合、それぞれの発表について履修申請ができることとする。

（別紙）

海外で開催される国際会議での発表、海外留学先での研究活動への参加について、「グローバル人材育成研修」として履修し、単位を認定する手続・要件等について定める。

1. 履修対象

学部学生、大学院学生

1. 授業科目、単位数及び履修条件

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 授業科目名 | 単位数 | 開講学期 | 履修条件 |
| グローバル人材育成研修１ | 0.5単位 | その他 | 海外で開催される国際会議で発表した者（ポスター発表等を含む。） |
| グローバル人材育成研修２ | １単位 | その他 | ２０日以上留学した者 |
| グローバル人材育成研修３ | ２単位 | その他 | ４０日以上留学した者 |

1. 事前・事後学修

事前・事後の学修を含めて単位を付与するため、必ず実施すること。

授業科目ごとの実施の目安は、「７．授業科目詳細」を参照のこと。

1. 履修・単位認定の手続き
2. 履修申請は、事後学修の終了後とする。
3. 履修を希望する学生は、「国際交流科目『グローバル人材育成研修』単位認定申請書」（様式１）に必要事項を記入し、指導教員の承認を得た上で、所属部局の教務担当係に提出する。

なお、「グローバル人材育成研修１」の履修者は、以下の書類も併せて提出する。

※プログラム等で発表者として名前が確認できるもの。（オンラインの場合は、会議の開催期間が確認できるものも必要とする。）

1. 所属部局は、国際部国際学生交流課海外留学係に送付する。
2. 国際部国際学生交流課海外留学係は、申請書の内容を確認し、履修登録及び成績登録を行う。
3. 国際部国際学生交流課海外留学係への送付期限

（春～夏学期実施分）９月卒業／修了予定者：令和５年８月１８日（金）

上記以外の者　　　　：令和５年９月２２日（金）

（秋～冬学期実施分）３月卒業／修了予定者：令和６年１月２６日（金）

上記以外の者　　　　：令和６年３月１５日（金）

1. その他

履修回数に制限はなし。また、同一ターム内でも複数回の履修ができることとする。

1. 授業科目詳細

|  |  |
| --- | --- |
| 科目名 | グローバル人材育成研修１ |
| 単位数 | 0.5単位 |
| 担当教員 | 有川 友子、各教員 |
| 授業科目区分 | 国際交流科目（グローバルイニシアティブ科目群） |
| 派遣期間 | ２日間～１週間程度　※オンラインの場合は参加期間 |
| 履修対象 | 学部学生、大学院学生 |
| 受講人数 | 特に定めない |
| 授業の目的 | 海外留学を通じて最先端の研究に触れ、研究テーマの視野を広げる。海外の研究者との交流を通じて国際性を高める。 |
| 履修条件/受講条件 | 海外で開催される国際会議で発表した者（ポスター発表等を含む。） |
| 授業内容/授業計画 | ●事前学修（２～８時間） |
| 指導教員等による発表の練習と指導を受ける。参加する国際会議について情報収集を行う。 |
| ●研修（１０～２０時間） |
| 国際会議で口頭発表又はポスター発表を行うとともに、最先端の研究に関する情報を集める。オンラインの場合は、参加者との学術交流を行うこと。（※） |
| ●事後学修（１～５時間） |
| 国際会議で得た成果について、帰国後に報告会を開催して発表を行うもしくはレポートを提出する。 |
| ※合計２３時間以上となるように実施すること。 |
| 成績評価 | 事前学修、研修活動、事後学修に対する取組と成果により評価する。合否科目とする。 |
| 事務担当部署 | 国際部国際学生交流課 |
| ※オンラインにおける参加者との学術交流他の発表者への質問、オンライン会議システムのチャット機能による参加者との質疑応答など、「履修条件/受講条件」に記載の“海外の研究者との交流”と考えられるものであれば該当します。 |

|  |  |
| --- | --- |
| 科目名 | グローバル人材育成研修２ |
| 単位数 | １単位 |
| 担当教員 | 有川 友子、各教員 |
| 授業科目区分 | 国際交流科目（グローバルイニシアティブ科目群） |
| 派遣期間 | ２０日以上 |
| 履修対象 | 学部学生、大学院学生 |
| 受講人数 | 特に定めない |
| 授業の目的 | 海外留学を通じて最先端の研究に触れ、研究テーマの視野を広げる。海外の研究者との交流を通じて国際性を高める。 |
| 履修条件/受講条件 | ２０日以上留学した者を対象とする。 |
| 授業内容/授業計画 | ●事前学修（２時間程度） |
| 海外留学で行う研究について情報を収集し、研究計画の立案や事前学修などの準備を行う。 |
| ●研修（４０時間程度） |
| 海外留学先で研究活動を行う。 |
| ●事後学修（３時間程度） |
| 海外留学で行った研究活動をもとに、レポートを提出する。さらに、教員が立ち会う報告会を開催し、研究発表を行う。 |
| 合計４５時間以上となるよう実施すること。 |
| 成績評価 | 事前学修、研修活動、事後学修に対する取組と成果により評価する。合否科目とする。 |
| 事務担当部署 | 国際部国際学生交流課 |

|  |  |
| --- | --- |
| 科目名 | グローバル人材育成研修３ |
| 単位数 | ２単位 |
| 担当教員 | 有川 友子、各教員 |
| 授業科目区分 | 国際交流科目（グローバルイニシアティブ科目群） |
| 派遣期間 | ４０日以上 |
| 履修対象 | 学部学生、大学院学生 |
| 受講人数 | 特に定めない |
| 授業の目的 | 海外留学を通じて最先端の研究に触れ、研究テーマの視野を広げる。海外の研究者との交流を通じて国際性を高める。 |
| 履修条件/受講条件 | ４０日以上留学した者を対象とする。 |
| 授業内容/授業計画※実施時期・実施場所等の調整を行うとともに、学修時間の確保に留意願います。 | ●事前学修（２時間程度） |
| 海外留学で行う研究について情報を収集し、研究計画の立案や事前学修などの準備を行う。 |
| ●研修（８５時間程度） |
| 海外留学先で研究活動を行う。 |
| ●事後学修（３時間程度） |
| 海外留学で行った研究活動をもとに、レポートを提出する。さらに、教員が立ち会う報告会を開催し、研究発表を行う。 |
| 合計９０時間以上となるよう実施すること。 |
| 成績評価 | 事前学修、研修活動、事後学修に対する取組と成果により評価する。合否科目とする。 |
| 事務担当部署 | 国際部国際学生交流課 |